

運動器・脊髄損傷コース（定員 50 名）

高齢化に伴い、転倒による外傷が増加しており、転倒は高齢者の不慮の事故死の要因で第 2 位、要介護の要因第 4 位となっています。各医療機関・事業所ではリスクマネジメントの一環として入院中や施設内での転倒予防について研修等が行なわれています。

在宅高齢者においても、近年フレイルやロコモ等の概念が紹介され、知識として広がりつつありますが、それとともに、直接的に骨折等のリスクとなる“転倒”への意識づけが必要となってきています。そこで、本研修では高齢者にかかわる支援者が改めて転倒に関するリスクを認識し、所属機関で活用するとともに、在宅高齢者にどう伝えていくか、地域での生活にどのように取り入れてもらえるか考える機会とします。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和 3 年 10 月 30 日（土） 13：30～15：30 （受付 13：00～）	『 転倒予防を考える 』	藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座 教授 大高 洋平 氏

対 象 者：高齢者にかかわる全ての職種（医療・介護・保健・福祉・行政分野の職員）

申込締切り：令和 3 年 10 月 22 日（金）まで （先着順）

★お申し込みは、下記の申し込みフォームより行ってください。

（URL、QR コードよりアクセス可能です）

申し込みをされた方に、Web 会議 (zoom) のミーティング ID・パスワード等をメールでお伝えします。

URL: <https://forms.gle/5MrmfXKn7XN6sMiR8>

QR コード



※日本医師会生涯教育制度 2 単位申請予定

※日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1 ポイント）

担当：奥村